

「知床横断道路の開通はまだだろうか」とそわそわしている今日この頃。特に雪が少ないうえ融雪の早い今年。気がでないのは私だけではないはず。知床横断道路の開通を待ちわびているのは春のお楽しみがあるからなのです。

お楽しみとは、残雪の知床峠からアクセスできる山々で春山スキーをすること。標高七三八mの知床峠からなら、平地の雪が解けてしまったゴールデンウィーク頃も例年であれば山スキーやスノーシューが楽しめます。

毎年訪れる場所としては、天頂山や知西別岳、羅臼岳方面など。雪がなくなってしまうとハイマツに拒まれて行けなくなる場所へもこの時期は行けてしまいます。とは言っても冬山装備は必須になりますよ。

◇二〇一八年 天頂山から羅臼湖方面

山は知西別岳



◇二〇二〇年 融雪が進んでいない火口湖（右下）雲がかかっている羅臼岳（左上）



今年の状況はまだわからないので、過去の写真を引っ張り出しながらになります。

昨年の火口湖は訪れた時期が早く、融雪が進んでいないため、青い色ではありませんでした。二〇一八年は八幡平のドラゴンアイに対抗できそうなアイスブルー。二〇一六年は青緑色。融雪状況や天候、時間、空の色などによって火口湖の色は違ってきます。なので毎年訪れたい場所になっています。

火口湖を通過して天頂山へ。融雪状況により頂上へ行けない年もありますが、二〇一八年は行けたみたい。向こう側にまだ雪が解けていない羅臼湖が見えます。融雪状況によっては羅臼湖が縞模様に見えることもあります。雪が繋がっていればこのまま羅臼湖方面にスキーを